

青雲之志



生徒指導だより
いじめゼロ・クールビズ号
(2022.4.28)
古里中学校生徒指導部

今もなお、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。私たちは何をすることができのでしょうか。多くの制限がある中でも、例えば、生徒や保護者、教職員が、今後の学校生活を豊かなものにしていくためにそれぞれの立場で知恵を絞り、できることを精一杯やっていくことや、一人ひとりの正しい判断のもと、物事に前向きに取り組んでいくことが大切であると考えます。苦しい時期をみんなで乗り越えていくためにも、お子様が不安に思っていることや、今年度頑張ろうと思っていることなどについて話し合いを持つなど、今一度、これからの学校生活についてご家族でお話をしていただければと思います。

さて、省エネルギー対策および節電の取り組みが重要であることから、本校でもクールビズ期間に合わせて、衣替え移行期間を設定いたします。エネルギー消費を抑えるとともに、節電意識の向上や、涼しい着こなしでの生活の工夫などについて、子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。



5月は いじめゼロ 強調月間です！

毎年宇都宮市では、5月と10月を「いじめゼロ強調月間」としています。いじめについては、強調月間以降も全校集会や学年集会、道徳の授業など、学校生活の様々な場面で指導にあたっていきます。本校では、いじめはいつでも起こりうると思え、早期発見、早期解消に努めていきます。「いじめは絶対に許されない行為である」ことを、ご家庭でも再確認する時間を取っていただければと思います。

～学校での主な取り組み内容～

いじめゼロ啓発リボン

黄色いリボンを胸につけ、いじめを「しない 負けない 許さない」意思を表示します。

いじめ防止啓発スローガン

生徒の皆さんに「いじめ防止啓発スローガン」を考えてもらう予定です。優秀作品に関しては、

- ① 中学校の昇降口や廊下などに掲示（ポスター等を作成）
- ② 岡本北小学校、白沢小学校にもお送りし、小学校の昇降口や廊下にも掲示などとして活用していきます。

いじめに関するアンケート調査・教育相談

「いじめにあった」「いじめを見た」など、いじめに関することを中心としたアンケート調査を実施します。またアンケートは、生徒との教育相談や今後の生徒指導の資料とします。

お願い

ご家庭で不安に感じていることなどがございましたら、遠慮なくご相談ください。

◆衣替えについて①◆

☆衣替えに関しまして、本校では以下の通り実施、指導していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 夏服期間：6月1日～9月30日 ※ご準備をお願いいたします！

- 上衣：・白の半袖のワイシャツ（男子）、ワイシャツまたはブラウス（女子）（天候や体調によっては長袖も可。名札は付ける。ネクタイは付けない。第1ボタンのみ外してもよい。ズボンやスカートの外に出さない。）
- ズボン：・指定のズボン（自分のウエストにあった標準型ストレート。ベルトは黒、紺、茶等の華美でない単色で、2穴でないものを使用すること。）
- スカート：・指定のスカート（丈は立ちひざをしたときに、裾が床に着く長さを基本とする。）
- ベスト：・指定のベスト（6月末日までは天候や体調に応じて自分で判断し、着用してもよい。ただし、ベストを着用しているときも、名札は付けること。）

※衛生面、性犯罪防止の面からも肌着の着用をお願いいたします。

なお、白やベージュ、ライトグレーなどの、着用したときにできるだけ透けず目立たない色や、フォーマルな色を基調とした、無地のものの着用にご協力ください。

◆衣替えについて②◆

2. 移行期間：5月2日～5月31日（冬服への衣替え時は、別に移行期間を設定する。）

○その日の天候や気温によって自分で判断し、冬または夏の服装のどちらを着用して登校してもよい。

○ブレザーを脱ぐ場合…ネクタイ、リボンは付けなくてもよい。

名札はワイシャツ（ブラウス）・ベストに付け替える。

○ワイシャツ（ブラウス）は長袖でも構わないが、まくるときは、きれいに折リたたんでまくること。

制汗剤 日焼け止め 水筒 についてのお願い！

これから暑い夏に向かっていきます。保健体育の授業や部活動でたくさん汗をかく季節です。古里中では、制汗剤や日焼け止めについて、夏服への移行期間に合わせて、以下のようにしていきます。また、特に夏場に関しては、熱中症防止対策のために、水筒の持参を推奨しています。衣替えと合わせて、ご理解とご協力をお願いいたします。

※生活空間に存在する、様々な種類の極めて微量な化学物質に反応して、頭痛・倦怠感などの症状があらわれるとされている「化学物質過敏症」というものがあります。本校では、「化学物質過敏症」を考慮し、以下のきまりにさせていただきます。

◇制汗剤やデオドラントシート等は、原則として学校への持ち込み及び使用は禁止しています。

○医療目的など、「どうしても…」というときは、担任及び部活動顧問に必ず相談してください。

◇日焼け止めについては、必要な場合のみ使用を認めています。

○使用する場合は、担任および部活動顧問に必ず申し出てください。

〔使用する場合のルール〕

- ・保健体育等で、外に出る場合に使用する時は、事前にトイレの中で塗ること。教室内外に持ち出して塗ることは、原則認めない。
- ・部活動時に使用する場合は、部のルールに従うこと。
- ・使用する時以外は、必ず、バックの中に保管すること。制服やジャージのポケットの中に入れておくことがないようにすること。

◇水筒については、以下のルールのもと、持参を認めています。

○年間を通じて水筒持参を可としています。

- ・中身は、水、お茶類、スポーツドリンク類のみとする。
※炭酸飲料やジュース類は禁止。温かい物でもよいが、やけどに十分注意すること。
- ・水筒の保管は、自分のロッカー内とする。
- ・休み時間、昼休み等に飲むことができる。
※必ず、教室内で飲むこと。廊下等では飲まないこと。
※給食時は牛乳があるため飲まないこと。
※授業によって、水分補給が必要とされる場合は、教科担任から指示がある。



**ご協力
お願いします**

●コラム 今、私たちにできること・・・

※日本経済新聞社電子版（2021年5月31日）より引用

未来をつくる人間力の大切さ…。コロナをきっかけに、他人との接触を避ける技術の導入が進んだ。ずっと先だと思っていた技術による仕事の代替が早まった。導入をためらっていられなくなったからだろうか。近頃のコンビニのレジは片方がセルフになり、一部の飲食店もセルフオーダーを導入した。コロナは、きっかけさえあれば世界が急激に変わることを教えてくれた。AIに仕事を奪われる未来も案外先のことではないのかもしれないし、単純作業は直にAIの領域になる。そのため私たちは、「人間らしい能力」を大切に、他者と協同する力を磨かなければならない。技術では代替できないからだ。例えば、交渉力、傾聴力、共感力など…。これが正しいのだとすれば、未来を創り出す過程を担うのは「若者」だけではない。既に前線から退いた人々には、長年培った確かな人間力がある。その人たちから多くを学ぶことができるはずだ。「世代を超えた協同」が、より良い未来をつくっていくと私は信じている。

様々な制限の中、我慢した生活を送り続けることなど、新型コロナウイルスによる不安はまだまだ尽きませんが、やはり大切なのは「今、できることは何か」を考え、行動に移していくことだと思います。自分や家族、周りの人のためにできることが、私たちにはまだあるかもしれません。

私たちにもできることがきっとある！みんなと一緒に乗り越えよう！今、私たちにできることを・・・。